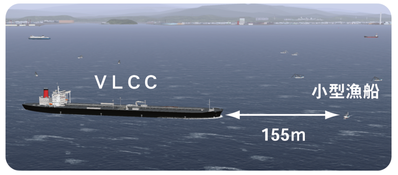
平成23年度 海運・水産関係団体連絡協議会

東京湾
商船航行情報図

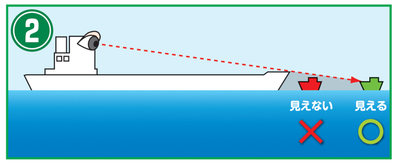


社団法人 日本海難防止協会

大型船から視認されない危険に注意を！





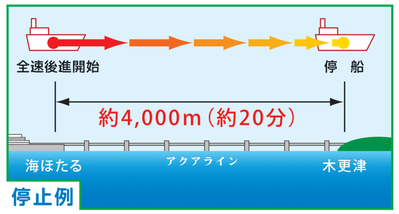


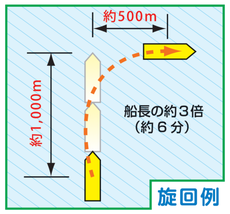
①は上の図に示す船位における大型原油タンカー（VLCC）の船首から155m離れた小型漁船の見え方を示したものです。

②は、大型原油タンカー（28万重量トン、長さ330m）の船橋からの視野が制限される状況を示しています。※コンテナ船の場合、船橋から500m程度の視野が制限されます。

小型船は自船が視認されない危険を避けるため、大型船から十分な距離を保つよう心掛けましょう。

大型船は急に止まれない！回れない！



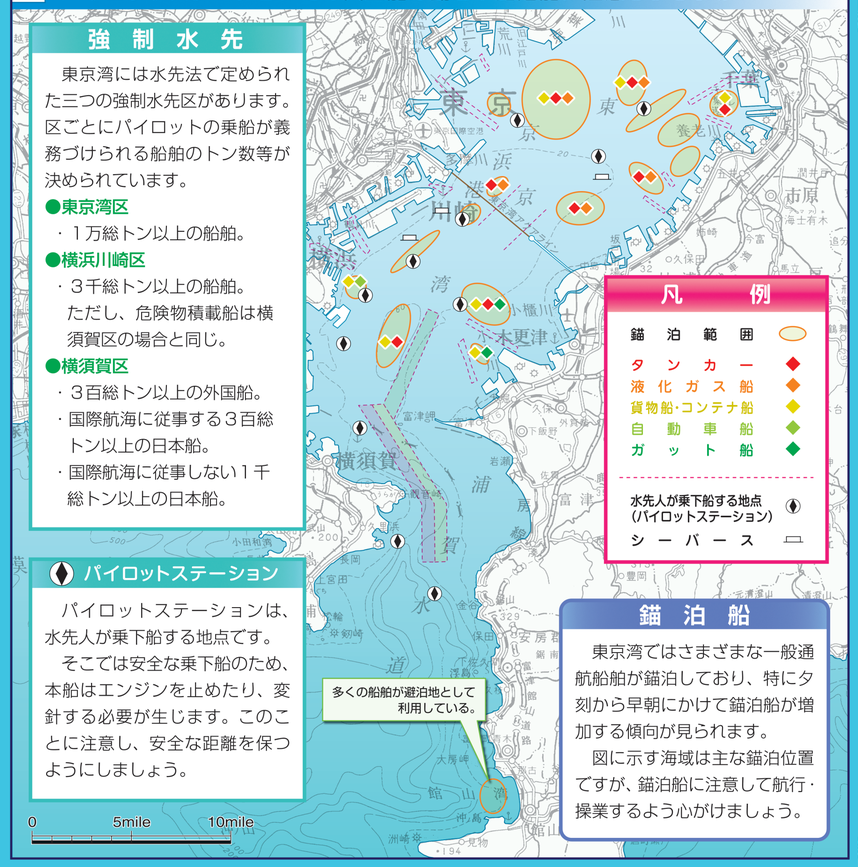


左図は、ＶＬＣＣ（約30万載貨重量トン、長さ約320m、幅約60m、喫水約20m、速力約15ノット）の停止距離の例と、ＶＬＣＣ（約26万載貨重量トン、長さ約310m、幅約60m、喫水約20m、速力約12ノット）の旋回（右35度操舵90度旋回）の例です。

このように大型船は、停止や旋回にかなりの距離と時間を必要とします。

小型船は大型船から十分な距離を保つよう心掛けましょう。

パイロットステーションでの大型船の動きや錨泊船に注意しましょう



強制水先

東京湾には水先法で定められた三つの強制水先区があります。区ごとにパイロットの乗船が義務づけられる船舶のトン数等が決められています。

●東京湾区
・１万総トン以上の船舶。

●横浜川崎区
・３千総トン以上の船舶。
ただし、危険物積載船は横須賀区の場合と同じ。

●横須賀区
・３百総トン以上の外国船。
・国際航海に従事する３百総トン以上の日本船。
・国際航海に従事しない１千総トン以上の日本船。

凡例

錨泊範囲	
タンカー	◆
液化ガス船	◆
貨物船・コンテナ船	◆
自動車船	◆
ガット船	◆
水先人が乗下船する地点（パイロットステーション）	
シーバース	

パイロットステーション

パイロットステーションは、水先人が乗下船する地点です。

そこでは安全な乗下船のため、本船はエンジンを止めたり、変針する必要が生じます。このことに注意し、安全な距離を保つようにしましょう。

錨泊船

東京湾ではさまざまな一般通航船舶が錨泊しており、特に夕刻から早朝にかけて錨泊船が増加する傾向が見られます。

図に示す海域は主な錨泊位置ですが、錨泊船に注意して航行・操業するよう心がけましょう。

東京湾の主な航路（浦賀水道航路、中ノ瀬航路）について

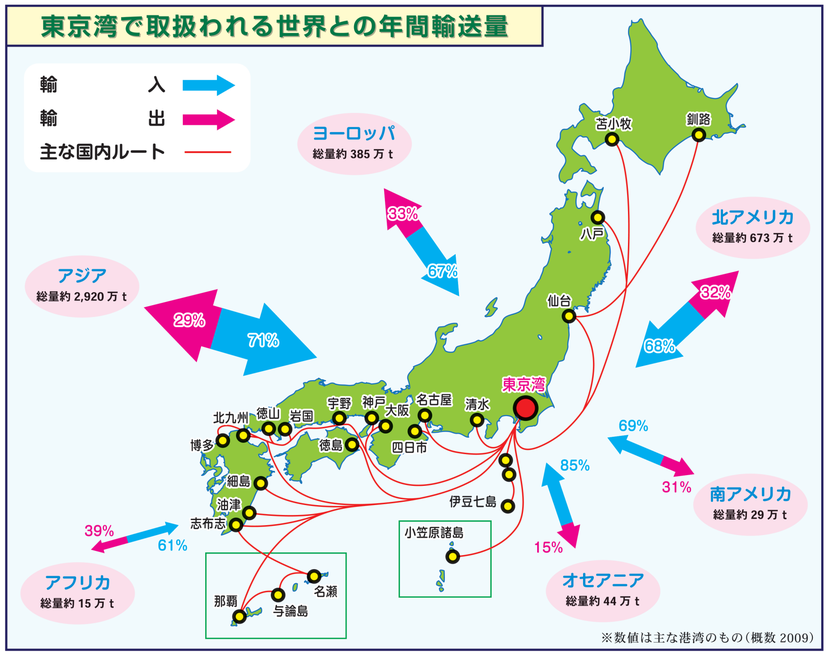


東京湾は日本の大動脈

東京湾内の特定重要港湾及び重要港湾などを利用して商船が担う輸送量は、全国港湾における輸送量の中で大きな割合を占めています。

東京湾内の各港は世界各国から輸出入ばかりでなく、また国内の各港と運航ルートが結ばれていることから、東京湾は日本の海上交通の大動脈といえます。

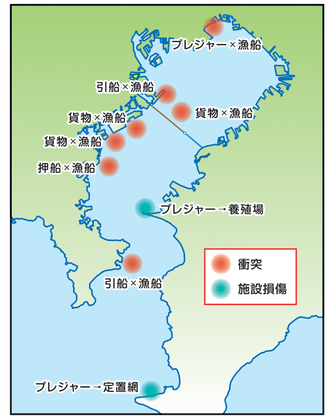
東京湾で取扱われる世界との年間輸送量



※数値は主な港湾のもの（概数 2009）

東京湾の安全航行を願って

このリーフレットは、世界有数の輻輳海域である東京湾を航行する主な一般通航船舶とその特徴などを掲載しています。



上の図は過去に東京湾内で発生した事故事例です。

このリーフレットはこのような事故を少しでも軽減できるよう、**海運・水産双方の安全な海域利用**の一助となることを願うものです。

このリーフレットは水に強い紙を使用しています。

安全航行に役立つ情報

沿岸域情報提供システム（MICS）ミックス

http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/



海上保安庁では、プレジャーボート、漁船などの船舶運航者や磯釣り、マリンスポーツなどのマリンレジャー愛好者の方々などに対して、「海の安全に関する情報」をリアルタイムに提供する「沿岸域情報提供システム」（MICS）を全国の海上保安（監）部等で運用しています。MICSでは、海上における安全のより一層の向上を目指して、船舶交通の安全のために必要な情報を使いやすく、分かりやすい形に分類、整理し、インターネットなどを通じて「誰もが簡単に」「必要な情報を必要な時に」「誰にでも分かりやすく」提供しています。

緊急情報配信サービス

平成２３年度からは、新たに電子メールを活用し、事前登録されたメールアドレスに海上保安庁が発表する緊急情報等をリアルタイムに配信する新たな情報提供サービス（緊急情報配信サービス）を開始しました。右のQRコードから登録ができます。

海のもしもは「１１８」

「いつ」、「どこで」、「なにがあった」などを簡潔に落ち着いて通報してください。

部署名	電話番号
①第三管区海上保安本部	045-211-1118
②千葉海上保安部	043-301-0118
③千葉海上保安部館山分室	0470-20-0118
④千葉海上保安部船橋分室	047-432-4118
⑤木更津海上保安署	0438-30-0118
⑥東京海上保安部	03-5564-1118
⑦横浜海上保安部	045-671-0118
⑧川崎海上保安署	044-266-0118
⑨横須賀海上保安部	046-862-0118
⑩東京湾海上交通センター	046-842-0118

社団法人 日本海難防止協会

〒105-0001
東京都港区虎ノ門１丁目１番３号　磯村ビル６階
【TEL】03-3502-2231
【E-mail】jams2231@nikkaibo.or.jp
【URL】http://www.nikkaibo.or.jp/

本リーフレットは
左記ＱＲコードにて
ダウンロードが出来ます。

このリーフレットに使われている地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の１地方図を複製したものである。（承認番号　平24関複、第６号）

VLCC


大型原油タンカー

東燃扇島東シーバース
京浜川崎シーバース
京葉シーバース
JX 日鉱日石 A-W 桟橋

総トン数 10,000 トン以上は、水先人乗船のため速力を減じる

凡　例
- 北 ル ー ト
- 南 ル ー ト
- シーバース

0　5mile　10mile

注　意
- ２０万 DWT 以上の積載重量を持つ原油専用の輸送船舶で、東京湾では、京葉シーバース、川崎のシーバース等に入港する。
- 全長が３００m を超え、幅は６０m 近くにもなる。
- 航行速力から停止するまで距離と時間を大きく要する。
- 船体が大きいため喫水も深く航行できる海域が限られているうえ、運動性能に限界があり急な方向転換等はできない。

コンテナ船


コンテナ船

東京（品川）
東京（大井）
東京（青海）
横浜（大黒）
横浜（本牧）
横浜（南本牧）

総トン数 10,000 トン以上は、水先人乗船のため速力を減じる

凡　例
- 北 ル ー ト
- 南 ル ー ト

0　5mile　10mile

注　意
- 毎週、定期的に同じような大きさの船が同じ岸壁に入港する。
- 東京湾では、主に東京港の大井ふ頭、青海ふ頭、品川ふ頭、横浜港大黒ふ頭、本牧ふ頭、南本牧ふ頭に入港する。
- コンテナ船の船橋からは、コンテナの死角によって約 500m 程度の視界が制限される。

フェリー・RORO船（定期便）


東京湾フェリー



RORO 船

東京（品川）RORO 船　週１０、５便
東京（若洲１５号）RORO 船　週５便
東京（有明１０号）RORO 船　週２２便
東京（有明フェリーターミナル）長距離フェリー　四国・九州方面：毎日運航　九州・沖縄方面：週２便
千葉（中央）RORO 船　週１０便
川　崎 RORO 船　週２便
横須賀（追浜）RORO 船　週４便
久里浜～金谷 東京湾フェリー　毎日運航　１時間おきに往復運航

凡　例
- 長距離フェリー
  - 北 ル ー ト
  - 南 ル ー ト
- ＲＯＲＯ船
  - 北 ル ー ト
  - 南 ル ー ト

0　5mile　10mile

注　意
- 長距離フェリー　１万トン級フェリーが東京（有明）からほぼ毎日運航。夕方から夜にかけて出港し、朝に入港する便が多い。
- 東京湾フェリー　久里浜～金谷を３，５００ＧＴ級フェリーが毎日、６時頃から２０時ごろまで１時間おきに往復運航。

LNG 運搬船




LNG 運搬船

東扇島
扇島
根岸
袖ケ浦
富津

総トン数 10,000 トン以上は、水先人乗船のため速力を減じる

凡　例
- 北 ル ー ト
- 南 ル ー ト

0　5mile　10mile

注　意
- 液化天然ガス（Liquefied Natural Gas）を専用に運搬する船舶。東京湾内では、袖ヶ浦、富津、東扇島、扇島、および根岸の５箇所に入港する。
- LNG 運搬船は、写真（上）のメンブレン型と球形のタンクを持つ写真（下）の "モス型" の２種類ある。
- 東京湾を航行するときは、エスコートボート（タグボート）が LNG 船の前方を警戒している。
- 球形タンクの船は、タンクの死角によって周辺が見えにくい。

自動車専用船


自動車運搬船（PCC）

千葉（船橋）
千葉（中央）
横浜（大黒ライナー）
横浜（大黒トランパー）
横浜（本牧）
横浜（根岸）
横須賀（追浜）

総トン数 10,000 トン以上は、水先人乗船のため速力を減じる

凡　例
- 北 ル ー ト
- 南 ル ー ト

0　5mile　10mile

注　意
- 不定期船で東京湾内には、千葉港（中央と船橋）、横浜港大黒ふ頭、横浜港本牧や横浜港根岸、横須賀港追浜の自動車の専用桟橋に入港する。
- 全長 200m 前後で幅 32m の船型が多い。
- 船橋が前方にあるので後方視界が悪い。また、水面上の構造が大きく風に流されやすい。

旅客船


クルーズ客船


貸客船


レストラン船


水中翼船（ジェットフォイル）

東京（晴海）クルーズ客船　年間２０隻程度
東京（竹芝）貸客船　伊豆諸島航路：１日１便　小笠原航路：１年間６０便程度
東京（竹芝）水中翼船　伊豆諸島航路：１日１～３便
横浜（大桟橋）クルーズ客船　年間約 120 隻
久里浜港寄港　土日祝日、年末年始のみ
館山経由（２～３月）

凡　例
- クルーズ客船
- 貸　客　船
  - 北 ル ー ト
  - 南 ル ー ト
- 水 中 翼 船
  - 北 ル ー ト
  - 南 ル ー ト
- レストラン船

0　5mile　10mile

注　意
- ジェットフォイル：東京と伊豆諸島を結ぶ航路に就航し、中ノ瀬航路と浦賀水道航路の東側を４０ノット以上の速力で航行する。０８３０頃と１３００頃に東京を出港し、１２００頃と１６３０～１７３０頃に東京に入港する。